

このたびは Motom (モトム) 照明器具をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

安全上のご注意

必ずお守りください。
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 工事店様へ
- ・照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。
 - ・工事終了後、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。
- お客様へ
- ・この器具の取り付け、取り外しには資格が必要です。取り付け、取り外しは販売店・工事店に依頼してください。
 - ・お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。	
▲ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 ▲ 注意「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)	
⊘ してはいけない内容です。	Ⓜ 実行しなければならない内容です。
<p>警告</p>	<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取付工事のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから、工事店および電器店に修理を依頼してください。 ●取付工事は、取扱説明書にしたがって確実に行ってください。感電、火災、ケガの原因となります。 ●アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。アースが不完全ですと感電の原因となります。 ●電源を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。 ●電源装置は、必ず適合するLEDモジュール(LED照明器具)、調光器と組み合わせて使用してください。LEDモジュール(LED照明器具)の破損や短寿命、過電流による火災および調光機器の故障の原因となります。
	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源装置の分解、改造は絶対にしないでください。故障、漏電、感電、火災の原因となります。 ●電源装置の出力側をLEDモジュール(LED照明器具)に接続しないままで放置しないでください。施工途中でやむを得ず出力側にLEDモジュール(LED照明器具)を接続しない場合、切断した電線を1本1本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁処理をすると電線切断面で放電が起こり、電線が焼損し火災の原因となります。 ●出力配線に中間ジョイントとして、指定のないコンセント等を使用しないでください。接続不良、定格間違いにより火災の原因となります。 ●紙や布、断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。電源装置の温度が高くなり、保護機能が動作したり、故障、感電、火災の原因となります。 ●電源装置の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。故障、感電、火災の原因となります。 ●電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによるキズをつけないでください。キズがついた状態で使用すると、絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。 ●電源装置には指定電力(W)を超えるLEDモジュール(LED照明器具)は接続しないでください。故障、感電、火災の原因となります。
<p>注意</p>	<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源電圧は、定格入力電圧の範囲で使用してください。LEDモジュール(LED照明器具)の短寿命、不点灯、チラツキ、電源装置の故障、火災の原因となります。 ●製品には寿命があります。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯(JIS C8105-1解説) ※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。定期的な点検をおすすめします。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電などに至る場合があります。 ●お手入れの際は、電源を切ってください。通電状態で言うと感電の原因となります。
	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤って落下させた電源装置は使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく発煙、発火の原因となります。 ●電線の接続点や電源装置の口出線には張力を加えないでください。不点灯、漏電、感電、火災の原因となります。 ●口出線を持って電源装置を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、不点灯、漏電、感電、火災の原因となります。 ●8~10年経過した電源装置は、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火の原因となります。電源装置の交換をおすすめします。

お問い合わせ窓口

- 商品のご購入に関するお問い合わせ
- TEL 03-5786-0745 平日10:00 ~ 17:00 (土日祝日除く)
商品のご購入 <https://shop.motom-jp.com>
お問い合わせ E-mail: sale@olympia-jp.co.jp
- 操作・仕様・その他に関するお問い合わせ
- TEL 0256-92-7070 平日10:00 ~ 17:00 (土日祝日除く)
FAX 0256-92-3312



オリンピア照明株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山4丁目1番15号アルテカベルテプラザ2F

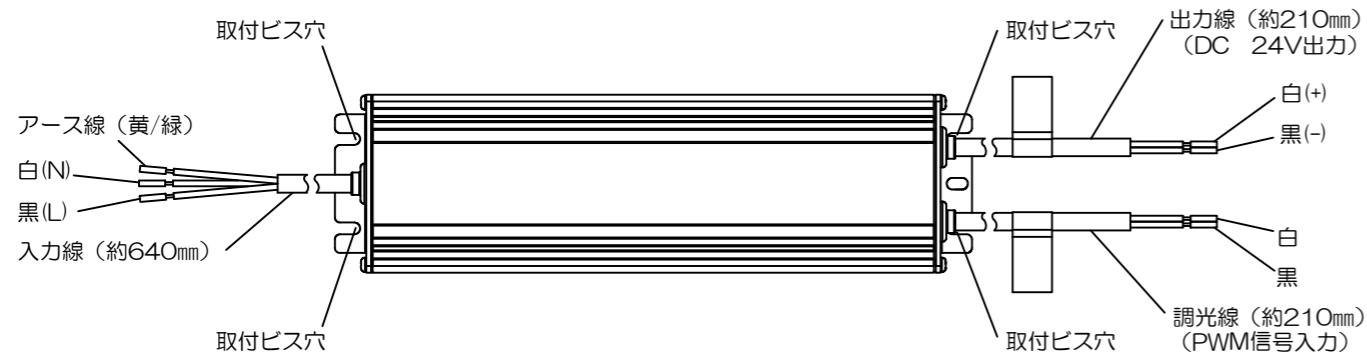
定格

※当社LEDモジュール（LED照明器具）と組み合わせたときの値。
LED負荷の種類によって、制約条件があります。

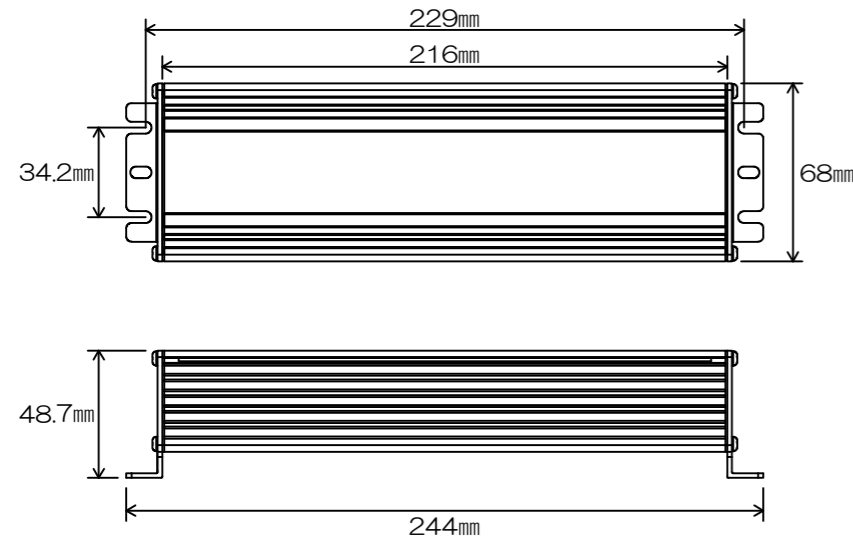
形式	入力電圧 AC(V)	周波数 (Hz)	出力電圧 DC(V)	本体質量 (kg)	最大出力 電流(A)	最大出力 電力(W)
GOP053	100-242	50/60	24.9	1.2	6.7	168

各部名称

説明図は一部を省略した図です。
お手元の製品と図では異なる部分があります。



寸法



取付方法

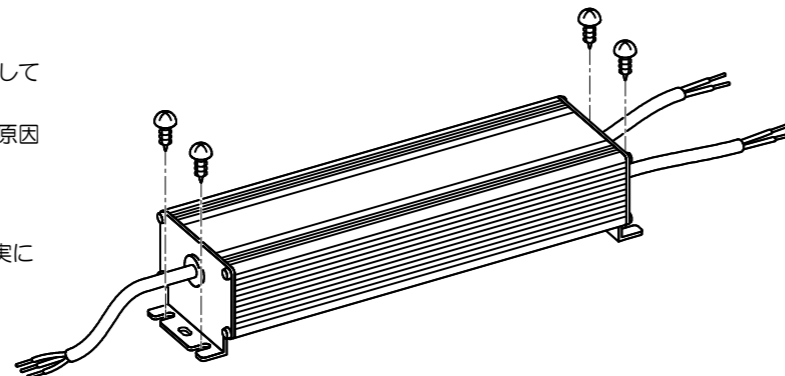
電源を入れたままでの取り付けは感電のおそれがあります。
※器具取り付けの際は必ず電源を切ってください。

1. 取り付け前の確認

電源装置の重量に耐えるよう、取付面の強度を確保してください。
※取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。

2. 取り付け

取付穴を使用して電源装置を取付ビスで4ヶ所に確実に取付けてください。
※取付ビスは別途ご用意ください。
推奨ビス M4 L6



ご使用上のご注意

- ラジオなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
雑音が入るときは電源装置から1m以上離して使用してください。
- 直射日光のあたる場所および直接雨のかかる場所では使用しないでください。
電源装置の異常過熱、焼損、発煙、発火の原因となることがあります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、電源装置に若干のうなり（音）を生じる場合があります。
- 通電したままLEDモジュール（LED照明器具）を脱着しないでください。
電源装置、LEDモジュール（LED照明器具）の故障の原因となることがあります。

保守・点検

- この器具の取り付け、取り外しには資格が必要です。取り付け、取り外しは、販売店・工事店に依頼してください。
- 交流定格内で使用してください。過電圧を加えると、火災・感電のおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、部屋の湿気により絶縁が悪くなる場合がありますので、部屋の換気を行うか定期的に通電してください。絶縁が悪くなりますと漏電、感電の原因となります。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らせた柔らかい布で、よく絞ってから拭いてください。
- 異常を感じた時は速やかに電源を切ってください。異常状態がおさまったことを確認し、弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

■アフターサービスについて

ご不明な点は弊社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

⚠注意

年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検してください。

「安全チェックシート」は当社ホームページ<https://www.motom-jp.com/>に記載しています。

3. LEDモジュールの接続

必ず適合するLEDモジュール（LED照明器具）、調光器と組み合わせて使用してください。
出力線には極性（+・-）があります。LEDモジュール（LED照明器具）の極性に合わせて結線してください。
結線後は絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。

4. 調光信号線の接続

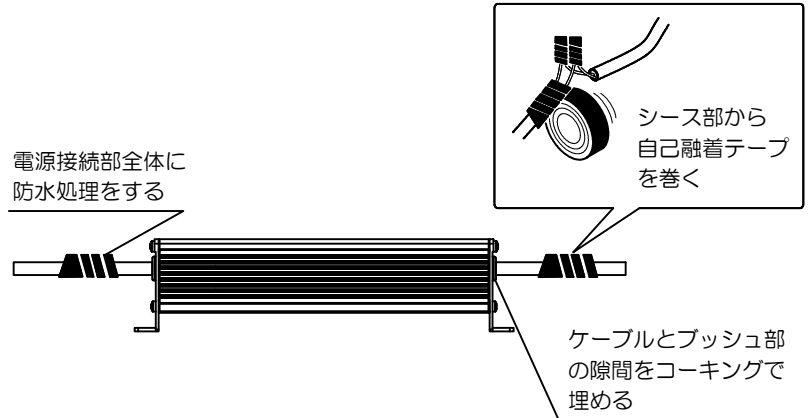
調光する場合には、電源装置の調光線と調光器のPWM信号線を結線してください。（調光線には極性はありません。）
結線後は絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。
※調光しない場合でも、調光線の末端の絶縁処理を行ってください。
※調光器との結線方法詳細は調光器の取扱説明書を参照してください。
※調光信号線にはFCPEV相当φ0.9×1ペアまたはφ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。

5. 電源線の接続

電源装置の入力線と電源線を結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。
※アース線はD種接地工事を行ってください。

6. 防水処理

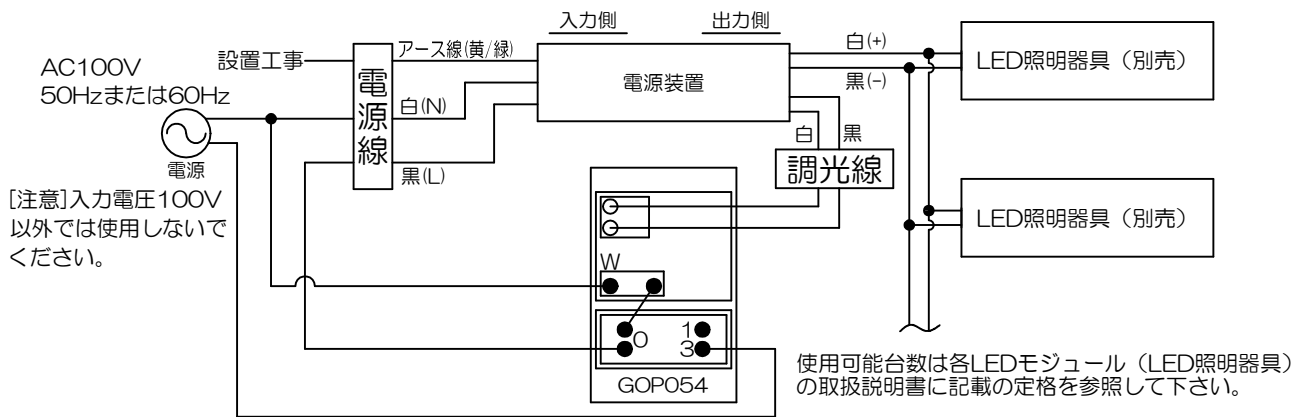
電源装置と防雨、防湿、防滴形LED照明器具と組み合わせて使用する場合には、結線部に自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
※一時的にでも水の影響を受ける場所に設置する場合は、防水処理を確実に行ってください。（結露状態も含まれます）
※調光線を使用しない場合でも、電源装置の調光線の絶縁処理と防水処理を行ってください。



7. 電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。

結線図



[注意]電源から調光器への配線および調光器から器具への負荷出力配線には、銅単線φ1.6またはφ2.0を使用してください。
調光器の電源端子(W)は必ず接地側(ニュートラル)と接続してください。

施工に関する注意事項

- 周囲温度は5℃～40℃の範囲で使用してください。周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合などには、電源装置が短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりします。
また、次の事項を守ってください。
 - 1) 電源装置の周囲に熱がこもらないようにする為、電源装置の周囲の造営材から50mm以上上げてください。(底面は除く)
 - 2) 電源装置の上面、側面に電源線、調光線、出力線が触れないようにしてください。
 - 3) 電源装置を2台以上使用する場合には、相互の熱の影響を受けま
すので、重ねたり、密着させたりせず、50mm以上間隔を空けて
設置してください。
 - 4) 箱の中に収納する場合は、容積を十分大きくとり、かつ換気をして電源装置の過熱に注意してください。
 - 5) 光源の上部などに取り付ける場合は、光源の熱影響を受けますので熱遮蔽の仕切りをするのと十分な間隔をとってください。
 - 6) 狭く周囲に空気の対流がなくこもりやすい場所では、強制換気などを行って電源装置の過熱に注意してください。
 - 7) 周囲温度が低い場合、正常動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 結線は、電源装置に表示してある接続図とおりに行ってください。
出力側配線を間違えて接続した場合や複数台の電源装置からの配線で組み合わせを誤って使用した場合、電源装置の焼損、故障、不点灯の原因となることがあります。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - 1) 電源装置の入力側、出力側配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - 2) 電源装置およびその配線と電子機器とをあまり近付けないようにしてください。
 - 3) 電源装置を使用した器具に近接してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。
また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- 調光する際は、指定調光器を必ず使用してください。
- 漏電遮断器の種類によって電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。
この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 点灯直後や調光を行う場合は、音を発生する場合があります。
学校、図書館、病院、事務室など静かさの要求される場所、体育館、講堂など多数の電源装置を取り付ける場合は、騒音に配慮して
施工してください。
- 点灯直後わずかに音がすることがありますが異常ではありません。
- 下記のような使用環境、条件下では使用しないでください。
早期の錆発生、故障、落下、ケガ、感電、火災の原因となることがあります。
 - 1) 水に浸かるおそれのあるところ(取付面が凹状の場所など)
 - 2) 常時高温高湿になるところ(サウナ、大浴場など)
 - 3) 振動、衝撃のあるところ
 - 4) 明らかに強風が吹く場所・地域(離島含む)と判断されるところ(風避けのない建物の屋上、橋など)
 - 5) 腐食性雰囲気のあるところ(温泉地など)
 - 6) 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)
 - 7) 粉塵の多いところ
 - 8) 塩害の影響を受ける地域(海に近いところ、沿岸部)
 - 9) 塩素を使用しているところ(プールなど)
 - 10) 荷重がかかるところ
 - 11) 人がぶら下がったり、足で踏みつけられたりするおそれのあるところ
 - 12) 草や木が成長し、器具が覆われるようなところ
 - 13) つららが発生するような寒冷地や積雪地域
 - 14) 雨が伝わる場所や流水経路となるところ
- 電源装置を隠蔽場所(天井裏など)に取り付ける場合は、電気設備技術基準により、火災の危険性を防止し、定期点検、異常時の処理
を行うため、容易に点検できるように設置してください。
- 電線を電源装置の端部に触れないよう余裕をもたせてください。
ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電の原因となることがあります。
- 取り付け後、絶縁抵抗を測定してください。
電源装置単体(電源一括と非充電金属部間)の絶縁抵抗が30MΩ未満、電路については電気設備技術基準省令第58条の規定値未満の
場合は、漏電、感電、火災の原因となることがありますので絶縁を修復させた後、通電してください。
- このほか、工事上の制約がありますので、電源装置の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

